

第3回 日本認知症予防学会学術集会

認知症起因の高齢運転者事故削減を目指す

平成25年9月28日

NPO法人高齢者安全運転支援研究会

高齢運転者の認知症による交通事故増加



女性が乗っていた乗用車(右)と
男性が乗っていた大型バイク
(長野市内で)

平成25年8月中旬、長野県内で、**60歳代後半の女性**が運転する乗用車が高速道路を逆走して大型バイクと衝突、バイクの男性が死亡した。時刻は昼過ぎで、晴れていた。女性は、自動車運転過失致死容疑で現行犯逮捕された。

警察官に「現行犯逮捕しますよ」と言われた女性は「はい」と答えたが、事情聴取では「わからない」と繰り返した。**どのように高速に入ったのか、なぜ逆走したのかも説明できない。**県警の調べで、**女性は認知症**と分かった。地元の医療機関に通院し、薬を服用していた。2011年に免許を更新、普段から運転していたという。

読売新聞(平成25年8月27日)より

高齢運転者の認知症による交通事故増加

警察庁によると、2010年9月から2013年6月末までの高速道路の逆走事例は612件で、65歳以上の**高齢者が運転していたのは66%**。

その半数以上は認知症か、その疑いがあった。
(読売新聞より)



警察庁推定 推定認知症のドライバーは全国で30万人

運転している認知症患者の6人に1人が交通事故 (日本老年精神医学会調べ)

～tv asahi 報道ステーション 特集より～

高齢者講習 (免許更新時)

<対象> 70歳以上

<問題点>

- 免許更新時75歳未満は認知症のチェックは行われていない。
- 運転に不備があっても免許を取り上げることはできない。

認知症起因の高齢運転者事故削減を目指す

年齢別免許証保有人口(平成24年度)

ア 年齢別、男女別運転免許保有者数の構成率

区分 年齢別		男		女		計		男女別構成比	
		男	構成率 (%)	女	構成率 (%)	計	構成率 (%)	男	女
	16歳	30,491	0.1	9,413	0.0	39,904	0.0	76.4	23.6
	17歳	62,025	0.1	21,255	0.1	83,280	0.1	74.5	25.5
	18歳	158,050	0.3	98,948	0.3	256,998	0.3	61.5	38.5
	19歳	372,151	0.8	291,089	0.8	663,240	0.8	56.1	43.9
	16歳～19歳	622,717	1.4	420,705	1.2	1,043,422	1.3	59.7	40.3
	20歳～24歳	2,670,407	5.9	2,260,417	6.3	4,930,824	6.1	54.2	45.8
	25歳～29歳	3,391,731	7.5	3,016,663	8.4	6,408,394	7.9	52.9	47.1
	30歳～34歳	3,842,294	8.5	3,498,378	9.7	7,340,672	9.0	52.3	47.7
	35歳～39歳	4,618,328	10.2	4,239,935	11.8	8,858,263	10.9	52.1	47.9
	40歳～44歳	4,691,331	10.3	4,307,671	11.9	8,999,002	11.0	52.1	47.9
	45歳～49歳	4,029,832	8.9	3,670,104	10.2	7,699,936	9.4	52.3	47.7
	50歳～54歳	3,706,830	8.2	3,297,218	9.1	7,004,048	8.6	52.9	47.1
	55歳～59歳	3,700,484	8.1	3,134,417	8.7	6,834,901	8.4	54.1	45.9
	60歳～64歳	4,585,396	10.1	3,573,030	9.9	8,158,426	10.0	56.2	43.8
	65歳～69歳	3,563,431	7.8	2,412,677	6.7	5,976,108	7.3	59.6	40.4
	70歳～74歳	2,820,247	6.2	1,383,096	3.8	4,203,343	5.2	67.1	32.9
	75歳～79歳	1,875,068	4.1	610,264	1.7	2,485,332	3.0	75.4	24.6
	80歳～84歳	979,343	2.2	194,567	0.5	1,173,910	1.4	83.4	16.6
	85歳以上	339,821	0.7	31,444	0.1	371,265	0.5	91.5	8.5
	計	45,437,260	100.0	36,050,586	100.0	81,487,846	100.0	55.8	44.2

65歳以上 14,209,958人 (男性=9,577,910 女性=4,632,048)

65歳以上の7人に1人(15%)は認知症

(2013年6月厚生労働省発表)



認知症ドライバーは200万人以上！？

65歳以上の免許保有者数14,209,958人×15%=2,131,493人

免許証を持つ65歳以上の高齢運転者は2012年末で1420万人、このうち認知症の人が実際どれほどいるのか明らかではないが、以前警察庁は年代別患者数の調査をもとに約30万人と推計。

しかし、今年公表された厚生労働省の統計値から単純計算を行うと、65歳以上免許保有者の213万人が認知症と算出。

全国の自主返納件数、昨年11万7613件(前年比1.6倍)

高齢女性ドライバー増加

H20～H24免許保有者増減数		
年代	男性	女性
65歳未満	↓ 1,276,340	↓ 205,059
65歳～69歳	↑ 168,925	↑ 512,109
70歳以上	↑ 933,154	↑ 768,642

2015年、
団塊世代が
65歳以上に



女性の免許
保有者急増

女性のアルツハ
イマー発症率は
男性の約2倍



認知症起因の高齢運転者事故削減を目指す

鳥取県内自動車教習所高齢者交通安全教室

平成23年11月18日



認知症起因の高齢運転者事故削減を目指す

物忘れ相談プログラム実施結果(平成23年11月18日:イナバ自動車学校)

(鳥取県)

整理 番号	性別	年齢	経過 時間	MSP 合計	即時 再認	見当 識	遅延 再認	図形 認識1	図形 認識2
1	F	63	2:53	14	3	4	6	1	0
2	M	66	2:44	10	3	4	2	1	0
3	M	66	3:01	15	3	4	6	1	1
4	M	67	2:29	15	3	4	6	1	1
5	M	68	2:50	14	3	4	6	1	0
6	F	69	2:59	14	3	4	6	1	0
7	F	70	2:39	15	3	4	6	1	1
8	M	71	3:05	12	3	4	4	1	0
9	M	72	3:14	15	3	4	6	1	1
10	M	72	3:08	13	3	4	6	0	0
11	F	72	2:32	14	3	4	6	0	1
12	M	73	2:40	14	3	4	6	1	0
13	M	74	2:46	14	3	4	6	1	0
14	F	74	2:14	15	3	4	6	1	1
15	M	75	2:55	13	3	3	6	1	0
16	M	75	2:24	14	3	4	6	1	0
17	M	75	3:06	14	3	4	6	1	0
18	M	75	3:58	14	3	3	6	1	1
19	M	76	2:59	14	3	4	6	1	0
20	M	76	3:31	15	3	4	6	1	1
21	M	76	2:42	13	3	4	6	0	0
22	M	76	3:10	13	3	4	6	0	0
23	M	76	3:09	12	3	2	6	1	0
24	M	79	3:23	14	3	4	6	1	0
25	M	80	2:43	13	2	4	6	1	0
26	M	80	2:27	12	3	4	4	1	0
27	M	80	3:21	15	3	4	6	1	1
28	M	80	3:22	15	3	4	6	1	1
29	M	81	3:07	14	3	4	6	1	0
30	F	82	2:43	12	3	4	4	1	0
31	M	82	2:23	14	3	4	6	1	0
32	M	83	3:12	14	3	4	6	1	0
33	M	86	3:26	10	2	3	4	1	0
34	M	86	2:34	12	3	4	4	1	0
35	M	89	2:46	14	3	4	6	1	0

高齢者講習対象者

講習予備検査対象者

12点以下	認知症の疑い有り	7名	20.0%
13点	ボーダーライン	5名	14.3%
14点以上	問題なし	23名	65.7%

34.3%

認知症起因の高齢運転者事故削減を目指す

神奈川県内自動車教習所交通安全教室

平成24年9月24日実施



認知症起因の高齢運転者事故削減を目指す

物忘れ相談プログラム実施結果(平成24年9月24日:都南自動車教習所)

整理番号	性別	年齢	経過時間	MSP合計	即時再認	見当識	遅延再認	図形認識1	図形認識2
1	F	61	2:40	14	3	4	6	1	0
2	F	66	2:56	15	3	4	6	1	1
3	F	67	2:49	14	3	4	6	1	0
4	M	67	3:02	13	3	3	6	1	0
5	F	67	2:27	13	3	3	6	1	0
6	F	68	2:26	14	3	4	6	1	0
7	M	68	2:50	15	3	4	6	1	1
8	F	68	2:38	13	3	4	4	1	1
9	M	68	3:10	14	3	4	6	1	0
10	F	68	2:37	15	3	4	6	1	1
11	F	69	2:46	14	3	4	6	1	0
12	M	69	3:14	9	2	4	2	1	0
13	M	69	2:31	15	3	4	6	1	1
14	F	70	2:54	15	3	4	6	1	1
15	M	70	2:27	14	3	4	6	1	0
16	M	70	2:58	15	3	4	6	1	1
17	M	70	2:50	14	3	3	6	1	1
18	M	70	2:56	15	3	4	6	1	1
19	M	71	2:40	14	3	4	6	1	0
20	M	71	3:30	13	3	4	4	1	1
21	M	71	2:56	15	3	4	6	1	1
22	M	71	2:35	15	3	4	6	1	1
23	F	71	2:37	15	3	4	6	1	1
24	M	71	2:44	12	3	4	4	1	0
25	M	72	2:58	13	3	4	6	0	0
26	M	72	2:48	14	3	3	6	1	1
27	M	72	3:02	14	3	4	6	1	0
28	M	72	2:43	15	3	4	6	1	1
29	M	72	3:09	12	3	2	6	1	0
30	M	73	3:12	13	3	4	4	1	1
31	M	73	3:02	13	3	2	6	1	1
32	M	73	2:56	15	3	4	6	1	1
33	F	74	3:37	10	2	4	4	0	0
34	M	74	3:04	14	3	4	6	1	0

高齢者講習対象者

35	M	75	2:42	13	3	4	4	1	1
36	M	75	2:39	15	3	4	6	1	1
37	M	76	2:44	15	3	4	6	1	1
38	M	76	2:45	15	3	4	6	1	1
39	M	76	2:52	13	3	3	6	1	0
40	M	76	2:38	15	3	4	6	1	1
41	M	77	2:32	15	3	4	6	1	1
42	M	79	3:04	15	3	4	6	1	1
43	M	79	3:08	14	3	4	6	1	0
44	F	83	2:54	14	3	4	6	1	0
45	M	83	2:56	14	3	4	6	1	0
46	M	84	3:00	15	3	4	6	1	1

講習予備検査対象者

12点以下	認知症の疑い有り	4名	8.7%
13点	ボーダーライン	9名	19.6%
14点以上	現状問題なし	33名	71.7%
		28.3%	

高齢者講習対象者（更新時70歳以上）の実態

MSPを使用した予備実験

鳥取大学医学部 浦上克哉(当研究会理事)教授開発

「物忘れ相談プログラム(MSP)」を使用

2カ所の自動車教習所で高齢者講習受講者対象の
免許更新時70歳以上へのMSP実施(任意)



アルツハイマー型認知症発見に最適
タッチパネルPCで短時間で実施
感度96% 特異度97%と高い信頼性

大阪府内 自動車教習所 (115名)	認知症の疑い有り	34名	29.6%
	ボーダーライン	15名	13.0%
	現状問題なし	66名	57.4%
鳥取県内 自動車学校 (99名)	認知症の疑い有り	29名	29.3%
	ボーダーライン	17名	17.2%
	現状問題なし	53名	53.5%

約3割に
認知症の疑い

高齢者講習対象者
(70歳)での
認知症スクリーニングでは
「遅すぎる」

(講習予備検査は75歳以上)

運転と認知症予防

千葉県、豊かで、いきいきと活力ある長寿社会を築くために
「高齢者の認知症予防と交通安全教室」

第1部 実技型講習会「高齢者交通安全教室」

千葉県 大多喜町自動車学校
平成25年3月4日実施

主 催：株式会社毎日新聞社

運 営：J A F（一般社団法人日本自動車連盟）千葉支部

協 力：大多喜町、大多喜町自動車学校
後 援：千葉県、認知症予防財団、千葉テレビ、
NPO高齢者安全運転支援研究会

日 時：平成25年3月4日（月）13:00～16:00

場 所：大多喜町自動車学校
（千葉県夷隅郡大多喜町紺屋81-1）

対 象：概ね65歳以上の普段クルマを運転されており、
マイカーで参加することに支障のない方。



運転継続は認知症予防につながる？

マニュアルミッション車の運転

物忘れ相談プログラム実施結果

	実施日	性別	生年月日	年齢	得点	時間	即時再認	見当識	遅延再認	図形認識1	図形認識2
1	2013/3/4	F	—	??	15	2:10	3	4	6	1	1
2	2013/3/4	F	1931/8/1	81	14	2:39	3	4	6	1	0
3	2013/3/4	M	1930/1/23	83	14	2:45	3	4	6	1	0
4	2013/3/4	F	1935/12/1	77	10	3:06	3	3	4	0	0
5	2013/3/4	F	1929/2/27	84	15	2:41	3	4	6	1	1
6	2013/3/4	M	1924/8/28	88	15	2:53	3	4	6	1	1
7	2013/3/4	M	—	??	14	3:27	3	4	6	1	0
8	2013/3/4	M	1932/8/8	80	14	—	3	4	6	1	0
9	2013/3/4	F	1939/5/12	73	14	—	3	4	6	1	0
10	2013/3/4	F	1932/5/5	80	15	—	3	4	6	1	1
11	2013/3/4	M	1925/8/8	87	15	—	3	4	6	1	1
12	2013/3/4	F	1929/2/5	84	14	—	3	4	6	1	0
13	2013/3/4	M	1925/12/23	87	15	—	3	4	6	1	1

年齢の割には認知症が少ない！

「初心に戻り謙虚に」
高齢者対象に 講義と運転実技
交通安全教室 大多喜

65歳以上の高齢者を対象にした「交通安全教室」（毎日新聞社主催、JAF千葉支部運営、大多喜町・同町自動車学校協力）が4日、

この日の参加者は70〜80歳の男女13人。車の運転中だけでなく、自転車の運転中や歩行中など事故が起きやすい状況について講義を受けた後、自分の車を実際に使って運転の基礎を練習。運転の基本的な点、見通しの悪い交差点の通過や急ブレーキの踏み方を訓練した。また、タッチパネルを使った「物忘れ相談プログラム」や判断力などを測る「運転診断」も行われた。

運転歴50年以上という末吉市五郎さん（89）は「急ブレーキの踏み方は練習は良い経験だった」と納得の表情。84歳で同年齢の佐川文子さんと種田藤代さんは「車は重い物の足、日常生活に欠かせず、運転を心がけて」と呼びかけていた。

JAFスタッフは

「出会い頭の事故を防ぐためには交差点に入るには徐行一時停止、左右確認が必要。慎重に初心に戻って謙虚な運転を心がけて」と呼びかけていた。

【吉村建二】

ピアノ処分の相談
びあのぶらす 検索
0120(517)666
古物商許可:303251006456 東京都公安委員会
ピアノプラス



3月5日 毎日新聞 朝刊
千葉県版 掲載記事

高齢者は運転に自信があり、生涯運転を続けたい

運転には自信がありますか(一つだけ選んでください)

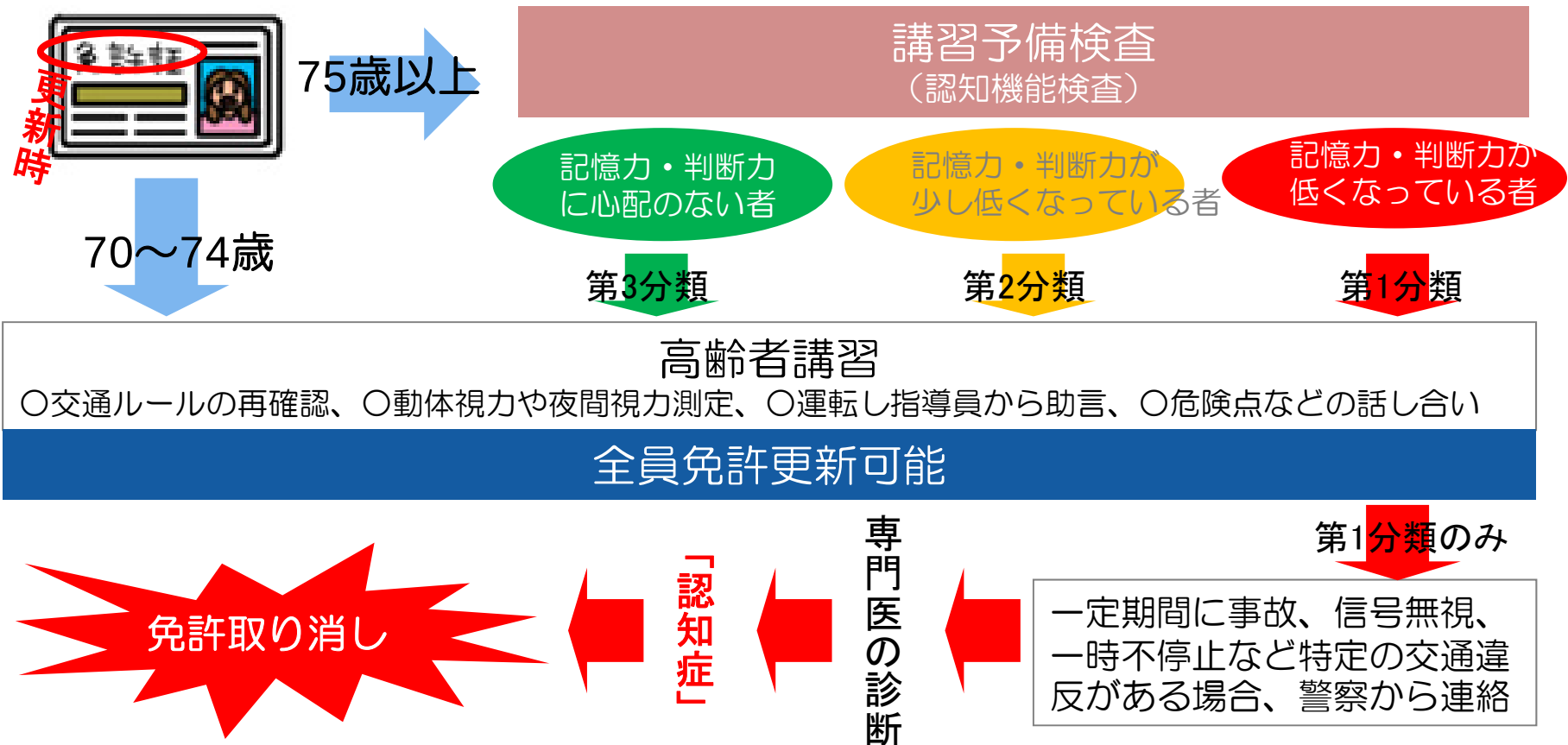
昔から自信がある						○				
年の割には上手い方	○		○	○	○					○
慣れているから大丈夫							○			
あまり自信がない		○						○	○	
できれば運転をやめたいほど自信がない										

いつまで運転を続けたいと思いますか(一つだけ選んでください)

ずっと続ける								○		○
自分で危険を感じるまで	○	○	○	○	○	○	○		○	
家族に止められるまで										
友人・知人から注意されるまで										
教習所や警察に止められるまで										

運転免許更新時の認知機能検査（講習予備検査）

2009年6月1日 法定の講習予備検査（認知機能検査） 実施開始
＜実施場所＞ 全国の指定教習所（居住行政地域内）



※運転の危険を知る家族が、教習所に免許取り消しを依頼しても権限・方法がない

認知症と道路交通法

第103条 免許を受けた者が次の各号のいずれかに該当することとなつたときは、(略)公安委員会は、政令で定める基準に従い、その者の**免許を取り消し**、又は6月を超えない範囲内で期間を定めて免許の効力を**停止**することができる。(略)

1. 次に掲げる病気にかかっている者であることが判明したとき。(略)

1の2. **認知症であることが判明したとき。**

9 認知症(法第90条第1項第1号の2及び法第103条第1項第1号の2関係)

(1) アルツハイマー型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症(ピック病)及びレビー小体型認知症拒否又は取消しとする。

(2) その他の認知症(甲状腺機能低下症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症、頭部外傷後遺症等)

ア 医師が「認知症について回復の見込みがない」又は「認知症について6月以内に回復する見込みがない」旨の診断を行った場合には、拒否又は取消しとする。

イ 医師が「認知症について6月以内に回復する見込みがある」旨の診断を行った場合には、6月の保留又は停止とする。(医師の診断を踏まえて6月より短期間の保留・停止期間で足りると認められる場合には、当該期間を保留・停止期間として設定する。)

保留・停止期間中に適性検査の受検又は診断書の提出の命令を発出し、

① 適性検査結果又は診断結果が「認知症について回復した」旨の内容である場合には拒否等を行わない。

② 「結果的にいまだ回復した旨の診断はできないが、それは期間中に〇〇といった特殊な事情があったため、さらに6月以内にその診断を行う見込みがある」旨の内容である場合にはさらに6月以内の保留又は停止とする。

③ その他の場合には拒否又は取消しとする。

(3) 認知症ではないが認知機能の低下がみられ今後認知症となるおそれがある場合

医師が「軽度の認知機能の低下が認められる」「境界状態にある」「認知症の疑いがある」等の診断を行った場合には、その後認知症となる可能性があることから、6月後に臨時適性検査を行うこととする。

なお、医師の診断結果を踏まえて、より長い期間や短い期間を定めることも可能である。(ただし、長期の場合は最長でも1年とする。)

車（運転免許）は市民生活の必需品

- ・ 公共交通の充実した都市部以外では、買い物、通院、通勤、コミュニティへの参加等、世代を問わず自家用車での移動が日常生活の必要条件
- ・ 中でも高齢者ほど身体的負荷が少ない車での移動の必要性が高い
- ・ 高齢運転者による交通事故は多く、逆走やブレーキ・アクセルの踏み間違えなど、特異運転によるトラブルや事故も増加
- ・ 「自身が危険を感じるまで運転を止めない」とする高齢運転者が多数で、家族や周囲の意見に耳を貸すことも少なく、免許証返納のハードルは高い
- ・ 運転が不安な高齢者自らが自家用車への依存を低くできる仕組み必要
- ・ 自己のアイデンティティーを担保する「運転免許証」の代替手段必要

高齢者が安心して運転できる環境整備を目指して

買い物や通院、コミュニティへの参加など、高齢者の生活の質を維持する手段としての車の運転を、安全に末永く続けていただくために

- ・ 安全運転のための知識、情報、技術の再確認、再習得機会の提供
- ・ 認知機能等自己の運転能力の客観的評価と、現状を自覚する機会提供
- ・ M C I（軽度認知障害＝認知症予備群）早期発見による認知症発症予防
- ・ 免許証返納時、日常の移動手段が確保される交通環境の整備
- ・ 認知症の人への的確な対応（医療機関への案内、免許返納）



高齢者の交通事故削減のみならず、社会保障費の削減効果も！

安全運転講習会

- ・ 60歳以上※を対象に、安全運転再確認の講習会を地元自動車教習所等にて実施
※60歳時点でのM C I 率約20%
- ・ 高齢化に伴う認知力を含めた自己の運転能力の現状把握と、変化の自覚を促す
- ・ M C I を含む認知症予備群早期発見場所としての機会創出（物忘れチェック）
- ・ 健全な安全運転継続（兼認知症発症予防）のトレーニング方法啓発
- ・ 状況に応じ、免許証返納の必要性を納得してもらう仕組み構築

高齢者の生活の質確保への取り組み

- ・ 積極的に外出（安価・利便性）できる公共交通構築（コミュニティバス等）
- ・ 免許返納後の移動手段補完公共交通（デマンドバス・タクシー等）の充実
⇒東京大学オンデマンド交通プロジェクトとの連携
- ・ 買い物支援等、日常生活のバックアップ体制構築

高齢者の安心・安全な外出・移動と認知症予防の実現を目指して

NPO法人高齢者安全運転支援研究会

認知症早期発見の場づくり
安全運転講習会

- ・高齢ドライバー交通事故現状の理解
- ・自己の運転能力の客観的評価
- ・認知能力スクリーニング検査の実施
- ・安全運転講習(座学・実技)の実施
- ・能力低下時、専門家による助言
- ・認知症予防トレーニング実施

生活の足確保
公共交通効率化システム

- ・現行システムでの高齢者利用の問題点改善
- ・簡便なシステムで行政の負荷軽減
- ・既存交通事業者による運用の継続

買い物支援事業

- ・タブレット端末利用の新システム

行政の取り組み

認知症発症予防
予防に向けた取り組み

- ・早期発見の機会を提供しシニア世代をケア
- ・発症予防のための施設やサービスの充実
- ・市民の認知症リテラシーの向上
- ・市民の末永い健康を実現するための市政

車がなくても生活できる環境作り
高齢者サービスの充実

- ・オンデマンド交通の効率化
- ・日常生活支援の効率化
- ・コミュニティ参加等「生きがい」担保

マイナンバー制度の活用

- ・免許証に代わるIDとして、社会的尊厳を維持
- ・公共交通、医療、福祉等の利用が一枚で
- ・利用データの分析により、有効な施策立案へ
- ・道義的倫理的に評価を得やすい制度の利用

行政目標の実現 (事故・社会保障費削減 住みやすい街・・・)

奈良県三郷(さんごう)町講演会

高齢者のための「運転を続けたい」を かなえるために・・・

三郷町地域包括支援センター

平成25年6月16日



認知症起因の高齢運転者事故削減を目指す



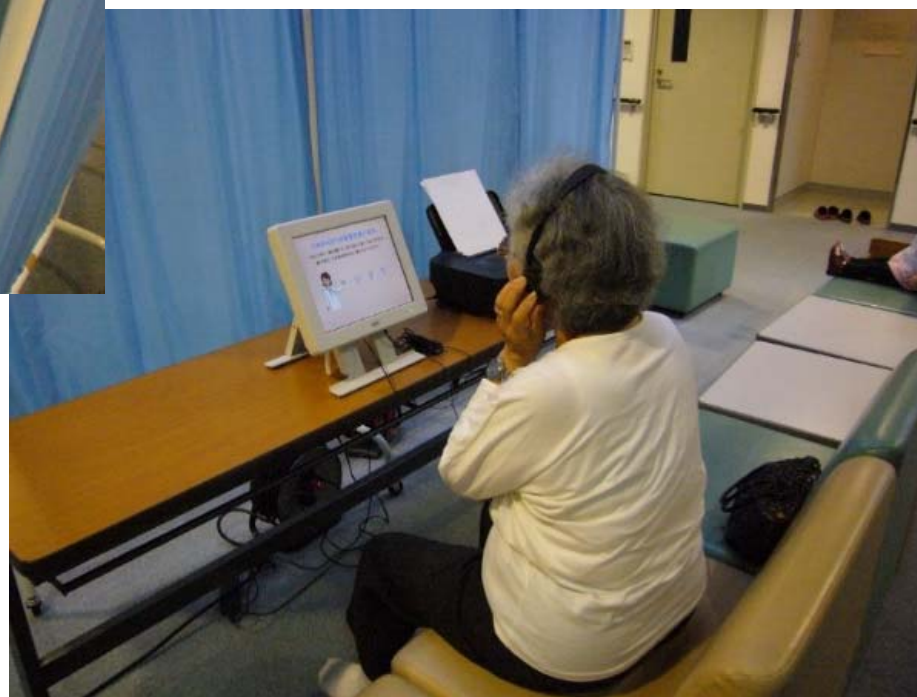
高齢者の安全運転方法 について講演

八尾自動車教習所
地域安全推進課長
浅田 克子氏





物忘れ相談プログラム
(MSP) 実施



認知症起因の高齢運転者事故削減を目指す

高齢者向け認知症予防 エクササイズ



利根川Kスタジオ
主宰
利根川 久女紅氏

Ｔーセーフティービクス 実演指導



研究会の概要

自動車ユーザー、医療（認知症）、交通心理学、交通工学、啓発活動など様々な視点からの研究や活動を通じ、高齢者の安全運転支援を進めています。



特定非営利活動法人高齢者安全運転支援研究会

東京都千代田区一ツ橋一丁目1番1号

理事長

矢代 隆義（やしろ たかよし）

日本自動車連盟 副会長

理事

浦上 克哉（うらかみ かつや）

鳥取大学医学部教授
日本認知症予防学会理事長

常田 照雄（つねだ てるお）

毎日新聞社常務取締役
J A F M A T E 社代表取締役

岩越 和紀（いわこし かずのり）

帝塚山大学心理福祉学部教授

蓮花 一己（れんげ かずみ）

エーザイ株式会社理事知創部部長

高山 千弘（たかやま ちひろ）

宮島 オー（みやじま さいいち）

弁護士

屋井 鉄雄（やい てつお）

東京工業大学大学院教授

諸井 恵（もろい めぐみ）

株式会社エムリンク代表取締役

監事

花房 幸範（はなふさ ゆきのり）

公認会計士

林田 浩志（はやしだ ひろし）

税理士、行政書士